

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		COCO育				公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	法令を遵守したスペースを確保している。	整理整頓を継続して、スペースの確保に努める。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		指定基準以上の職員を配置している。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	階段に手すりやすり止めを設置、部屋にはクッション性のマットを敷く等を行っている。	老朽化した備品の交換、収納用具の増設			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	使用した教材・設備等のアルコール消毒、オゾン空気清浄器・加湿器を導入して、安全・清潔を保っている。	整理整頓、清掃を徹底していく。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		使用する際のルールを設けている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	職員全員が毎日ミーティングに参加して話し合いをしている。	確認の為に、ミーティングの記録をとる。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表を閲覧して改善に役立てている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	各々の意見等を出して話し合う機会を設けており、業務改善につなげている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今後 必要に応じて実施を検討する。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月1回の定期的な研修を実施しています。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表期日までに、公表している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	5		電話・対面による保護者面談を実施し、子どもの課題や保護者のニーズを確認、分析し計画を作成している。				
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員で課題や成長、変化、支援方法などについて話し合い、検討、作成している。				
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員全員が支援計画書を確認し、支援計画書に沿った支援を行っている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		常に観察を行い確認を行っています。				
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		支援に必要な項目、具体的な支援内容を記載している。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		担当の職員が主体的な立案者となり、全職員の意見、利用者の現在の状態等確認して立案している。				

援助の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員全体で様々な意見を出し合い、活動プログラムを構成している。特に長期休暇、学校休業日には、外出や季節行事を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの状況に応じて、個別・集団活動を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日開始前に職員全員でミーティングを行い支援内容や役割分担の確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	毎日終了後に職員全員で振り返りを行い情報の共有化を図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		当日の支援内容や様子を個々の記録として残して、支援の検証・改善の継続実施に取り入れている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6ヶ月ごとに保護者面談をした結果を踏まえ、支援計画の見直しを行っている。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		支援計画に明記し、計画に沿って支援を行っている。	
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		こどもたちが考え行動できるプログラムを設定し支援を行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者と可能な限りこどもの担当指導員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	連携をとっている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		不定期ではあるがモニタリングを行い連携が取れている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		地域交流として地区センターでの活動や自治会の祭りに参加したり、喜劇の発表会を開催している。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		HUGシステムにて、課題への取り組み状況（写真）や評価を記載している。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		不定期であるが実施している。	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】 （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	月末に次月の予定を確認のうえ下校時間の調整を行っている。		

	38	<u>【放デイのみ】</u> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	支援会議などを行い情報共有を行っている。	
	39	<u>【放デイのみ】</u> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		書面や口頭で情報共有を行っている。	
	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		5	行っていません。	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		施設の見学時や契約時に重要事項を丁寧に説明し同意を得ている。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		定期的モニタリングを行い、ニーズや課題を確認する機会を設けている。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		支援計画を丁寧に説明し、同意を得て交付している。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて、時間を設け懇談や電話等で相談に応じている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会の告知を行い、年1～2回開催し保護者同士の連携支援を行っている。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		24時間転送電話にて、迅速な対応ができるようになっています。苦情があった場合は速やかに直接お話しする、もしくは電話、メール、ラインにて対応するようにしている。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		都度、配布物又は定期刊行誌「コスモタイムズ」を作成してお知らせしている。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		スタッフに周知徹底している。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		こどもや保護者の状況に応じて配慮を行っている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		事業所の行事である「喜劇」の開催を行っている。	
非常時等の対応	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて、時間を設け懇談や電話等で相談に応じている。	
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	各マニュアルは保管を行い、定期的な研修とマニュアルがすぐ見れるような場所で管理を行っている。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に2回の訓練を実施している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者から聞き取りを行い確認している。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	保護者からの聞き取りを行いアレルギーの有無を確認している。（医師の指示書での対応ケースがない。）	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、定期的な研修・訓練を実施し支援を行っている。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	マニュアルを作成し取り組んでいる。	周知活動を行っている。

58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハット事例は、ファイリングして全職員で共有している。	周知活動を行っていく。
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的な研修を実施している。	
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		契約時に必ず保護者の方へ説明し同意を得ている。	